

小規模多機能型居宅介護さくら 第59回運営推進会議

31年度 第1回

報告者：大瀬良

日 時	平成31年 4月 14日 (日)	10:30~12:00
場 所	長崎市みなと坂1丁目6番35号	アスカ新館1階 会議室
参 加 者	別紙にて記載	

I 利用者状況 規程：登録定員29名 一日の通い定員18名 泊まり8名 訪問200件以上/月

(1) 登録状況 2月~3月

月	登録者	要支援者		要介護者					区分 変更中	平均 介護度	長期 入院者
		支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
2	27	2	1	7	7	8	1	1	0	2	2
3	27	2	1	7	7	7	2	1	0	1.9	2

期間中の新規契約者：0名 期間中の終了者：1名 相談(待機)件数：2件 利用につながらなかった方2名

(2) 地域別内訳、世帯構成

※特養、グループホームは入居者様が入所前に生活されていた状況

月	登録者	居住地(中学校区別)				世帯構成		
		西泊	福田	丸尾	その他	独居	老老	同居
3	27	20	5	0	2	11	3	13

(3) サービス毎利用状況(延べ)

※小規模多機能型居宅介護のみ

月	登録者	通い	宿泊	訪問	計	一人当たりの平均利用状況 (週)	最低基準(週)
3	27	385人 (12.4人)	159人 (5.1人)	234件 (7.5人)	778	7.20	週4日以上

II. 職員体制及び研修状況等

(4) 職員体制

単位：実人数

31年 1月現在	常勤	非常勤	合計	備考
管理者兼及び計画作成担当者	3	—	3	兼務含む
看護職員	1	0	1	
介護職員	9	8	17	兼務含む
合計	13	8	21	

2月~3月に入職・異動した職員：0名 他事業所へ転出した職員：0名 退職：1名

(5) 研修状況

施設内研修	外部研修
① 2月20日：offjt リスクマネジメント	3月5日 認定審査に関する研修 3月19日 長崎市集団指導
② 3月20日：offjt 口腔ケア	

Ⅲ 防災訓練、介護事故 その他の報告

(6) 防災訓練

2月26日	避難自主訓練
3月26日	地震想定避難訓練

(7) 介護事故、ヒヤリハット報告

定義について 事故：実際に怪我やダメージがあった。(骨折)、重大なミスがあった(誤薬)。

ヒヤリ：事故にはならなかったが転倒や誤薬、トラブル防止のため共有すべき状態。

2月から3月

日時	場所・年齢・ 介護度・性別	概要	原因・問題点・今後の対策について
3/1 16:45	95歳女性 要介護3	スタッフが台所で夕食準備をしており、フロアへ目を向けると、本氏が歩行器なしで1.5m程歩き、近くにあった簡易テーブルに片手をついていた。本氏に走り寄り支えることができたため大事には至らず。フロア内にスタッフ1名いたが、他利用者対応中であった。	すぐに対応できるようにできる限り本氏の近くにいる。できない場合も視界に入るように又本氏から目を離さない。スタッフ間声掛けの徹底。
3/13 18:55	不明	テーブル上の空になったティッシュの箱を捨てようとした際、中より溶けかけの白い錠剤が見つかる。いつのものか、また、どの利用者の薬かも不明だった。	服薬して頂くときは、飲み込んだかをまで確認する。(場合によっては口の中まで、確かめさせてもらう。)
3/31 7:40	92歳女性 要介護2	朝食後、フロアのテーブルにて服薬を済ませ椅子に座っていた所「ドスン」という音がした。振り返ると本氏が仰向けで頭を上げた状態で転倒していた。スタッフは2人居たが、1人は利用者の口腔ケアの為、洗面所付近に、もう1人は服薬準備の為に台所へいたために本氏の動きを見ていたスタッフが居なかった。	本氏は、退院後すぐだった為歩行が安定せず、また車椅子を嫌がり椅子に移動されていた。自分で動こうされる事をスタッフも退院前から認識し、もっとスタッフ間で情報を共有すべきだった。 フロアには必ず1人はスタッフが常時目を向けておく。席を立つ可能性が高いので、スタッフ間の声かけも確認する。

ヒヤリハット、事故：ヒヤリ：合計21(2月4件、3月17件)(転倒：8件 薬に関して：6件 誤嚥：1件 打撲・切り傷：0件 他：6件) 事故：合計3(転倒：3件 薬に関して：0件 他：0件)

(8) 行事 (実施、予定)、取り組みなど

- ・2月3日 豆まき
- ・2月6日 ランタンドライブ
- ・3月5日 伊王島ドライブ
- ・3月9日 すいか割り
- ・3月18日 誕生会
- ・3月25日 神ノ島公園お花見
- ・3月28日 神ノ島公園お花見 (2回目)